

令和5年度「家庭総合」シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
家庭総合	2	2	必修	普通科	

1. 科目概要および目標

衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を通して、家族の人間関係や家庭の機能を理解し、生活に必要な知識・技術の習得や生活を工夫する能力を育成する。

2. 成績評価

- ・ 定期テスト(1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査)を実施する。
- ・ 提出物・・・ワークノート、作品、ファイル(授業プリント)、授業での課題等にて評価する。
- ・ ホームプロジェクト(夏休みの課題)
- ・ 授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	60%	作品、提出物	30%	出席、授業・実習態度	10%
-------	-----	--------	-----	------------	-----

3. 使用教科書・教材

- ・ 教科書 : 高等学校家庭総合 持続可能な未来をつくる未来(第一学習社)
- ・ 副読本 : 生活ハンドブック資料&成分表2023(第一学習社)

4. 授業の展開と形態

- (1) 生活を見つめ直す。
- (2) 生活の課題を明らかにする。
- (3) 現在と将来のよりよい生活を作るための知識や技術を学ぶ。
- (4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

5. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

実習科目なので、作品や提出物を重視して評価する。また、作品については実習の態度や製作過程も評価するので授業を大切に受けるようにしよう。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

家庭科関連で進学する場合は、生活科学系学部・学科に進学することになります。専攻する分野にもよりますが食物系なら化学や数学、住居系なら物理や現社など学んでおくとよい。

大学で取得できる資格等は分野によって違うので、予め調べておこう。

シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
家庭基礎	2	2	必修	国際人文科	

1. 科目概要および目標

家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 成績評価

・定期テスト

1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査を実施する。

・提出物は、学習ノート、ワークシート、作品提出、授業での課題等にて評価する。

・ホームプロジェクト（夏休みの課題）

・授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	60	%	作品・提出物	20	%	出席、授業・実習態度	20	%
-------	----	---	--------	----	---	------------	----	---

3. 使用教科書・教材

教科書：家庭基礎（第一学習社）

副読本：生活ハンドブック 資料+成分表 2023（第一学習社）

4. 授業の展開と形態

教室での授業は、講義が中心となるが、作業やロールプレイングなどを取り入れる。また、被服実習や調理実習では、すぐに取り組めるように予め準備を整える。

5. 学習方法

授業で学んだことを実際の生活の場で応用して実践力をつけるために、授業や日々の生活で次の点に重点を置く。

(1) 生活を見つめ直す。

(2) 生活の課題を明らかにする。

(3) 現在と将来のよりよい生活を作るための知識や技術を学ぶ。

(4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

実習科目などで、作品や提出物などを重視して評価する。また、作品については、実習の態度や過程も評価するので授業を大切に受けるようにしよう。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

家庭科関係で進学する場合は、生活科学系学部・学科に進学することになります。

専攻する分野にもよりますが、食物系なら生物や化学、住居系なら物理や現代社会を学んでおこう。

大学で習得できる資格などは分野によって違うので、予め調べておこう。

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
家庭総合	2	3	必修	普通科	

1. 科目概要および目標

- ①家族や生活の営みを人の一生との関わりの中で総合的にとらえる。
- ②学習した知識や技術を実生活に生かして、各自の生活課題を解決し、よりよい生活を工夫する能力を定着させる。
- ③家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 成績評価

- ・定期テスト
 - 1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査を実施する。
- ・提出物
 - ファイル（授業プリント）、作品提出、授業での課題等にて評価する。
- ・ホームプロジェクト（夏休みの課題）
- ・授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	60	%	作品・提出物	30	%	出席・授業態度	10	%
-------	----	---	--------	----	---	---------	----	---

3. 使用教科書・教材

- ・教科書：新家庭総合 パートナシップでつくる未来(実教出版)
- ・副読本：生活学 Navi 2022(実教出版)

4. 授業の展開と形態

教室での授業は、講義が中心となるが、作業やロールプレイングなどを取り入れる。また、被服実習や調理実習では、すぐに取り組めるように予め準備を整える。

5. 学習方法

授業で学んだことを実際の生活の場で応用して実践力をつけるために、授業や日々の生活で次の点に重点を置く。

- (1) 生活を見つめ直す。
- (2) 生活の課題を明らかにする。
- (3) 現在と将来のよりよい生活を作るための知識や技術を学ぶ。
- (4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

実習科目などで、作品や提出物などを重視して評価する。また、作品については、実習の態度や過程も評価するので授業を大切に受けるようにしよう。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

家庭科関係で進学する場合は、生活科学系学部・学科に進学することになります。専攻する分野にもよりますが、食物系なら生物や化学、住居系なら物理や現代社会を学んでおこう。大学で習得できる資格などは分野によって違うので、予め調べておこう。

令和 4 年度「フードデザイン」シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学年	備考
フードデザイン	2	3	選択	普通科・国際人文科	

1. 科目概要および目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

2. 成績評価

- ・ 定期テスト
 - 1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査を実施し評価する。
- ・ 提出物
 - ワークノート、ファイル(授業プリント)、授業での課題等にて評価する。
- ・ 授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	50%	提出物	20%	出席、授業・実習態度	30%
-------	-----	-----	-----	------------	-----

3. 使用教科書

教科書: フードデザイン(教育図書)
副読本: ワークノート(教育図書)

4. 授業の展開と形態

教室での授業は、講義が中心となるが、作業や調理実習をできるだけ多く取り入れる。
また、調理実習で速やかに実習に取りかかれるよう、予め準備を整える。

5. 学習方法

授業で学んだことを実際の生活の場で応用して実践力をつけるために、授業や日々の生活で次の点に重点を置く。

- (1) 生活を見つめ直す。
- (2) 現代の食生活の問題について考える。
- (3) 現在と将来のよりよい生活をつくるための知識や技術を学ぶ。
- (4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

6. 履修上の留意点

- (1) 科目選択をする際考すべき事項
 - 実習科目なので、実習への姿勢態度、提出物などを重視して評価する。
- (2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項
 - ① 食事の意義と役割について理解し、実習を通し総合的に学んでいく。生活科学系学部・学科等への進学も視野に入れて授業を展開していく。
 - ② 専攻する分野にもよるが、食物系なら生物、化学や数学、住居系なら物理や現代社会などを学んでおこう。
 - ③ 大学で習得できる資格などは分野によって違うので、予め調べておこう。